

第34回 建築生産シンポジウム プログラム

建築生産シンポジウムは、建築生産分野に関する、研究、開発、教育の発展を図るとともに、研究者と実務者の双方に最先端の研究開発に関する意見交換と交流の場を提供することを目的としています。

当該分野は、建築生産というサイクル、すなわち企画・設計・施工準備・施工・維持管理・運営を経て解体あるいは改修により、再度、企画設計に戻る、というプロセス全体を対象とします。そのため、広範囲の視点から、最先端の現状分析、将来展望など、研究開発の成果が論文／報告として発表されます。

第34回建築生産シンポジウムにおきましては、特別講演として「建築生産の将来を知る、将来を支える」と題し、建設投資の中長期予測と建設キャリアアップシステムについて、それぞれご講演をいただきます。

多くの皆様にご参加頂き、活発な議論や意見交換がなされることを期待しています。

主催 日本建築学会 建築社会システム委員会 建築生産小委員会

期日 2018年 7月26日(木)～7月27日(金)

会場 建築会館ホール(港区芝 5-26-20) ➔ <http://www.ajj.or.jp/jpn/guide/map.htm>

定員 110名

参加費 会員6,000円、会員外8,000円、学生3,000円(資料代含む。当日会場でお支払いください。)

申込方法 Web申込みよりお申込みください ➔ <https://www.ajj.or.jp/event/detail.html?productId=615035>

問合せ 学会事務局 事業 G/浜田 TEL 03-3456-2057

懇親会 日時:7月26日(木)17:30～19:00

場所:当日お知らせいたします。

会費:4,000円 前後 (学生は1000円)

■ 第1日目 7月26日(木)

講演時間(発表12分、質疑3分)

・開会挨拶 : 石岡宏晃(清水建設) 9:15～9:20

A 国際比較

司会:曾我行雄(フジタ) 9:20～10:05

A-1 Analysis of Residential Infill System in Industrialized Building System
- Taking China and Japan as Examples

イン ロ(東京大学)・森下有・野城智也

A-2 日本のゼネコンの中国進出についての分析

尤然(京都大学)・金多隆

A-3 インドネシアの建築生産システムに関する研究

羽田圭佑(芝浦工業大学)・蟹澤宏剛・志手一哉・佐藤秀昂

[休憩:10分]

B 建築生産一般(生産史研究・環境)

司会:曾我行雄(フジタ) 10:15～11:30

B-1 可変的／固定的要素分業システムの歴史的意義

藤尾直史(千葉科学大学)

B-2 極限環境における大規模コミュニティ建設のための建築生産技術に関する調査研究

五十嵐宇晴(東京大学)

B-3 How theory of bioclimatic architecture is deployable to industrialized building?

バルギーニ ロレンツォ(東京大学)・森下有・野城智也

B-4 住空間 IoT における組織間の責任分担のあり方に関する考察

野城智也(東京大学)

B-5 小規模商業施設における年間を通じた自然換気と機械換気の組合せ有効活用に関する
省エネルギー上の課題と IOT を活用した解決のための仕組みの提案

馬郡文平(東京大学)・野城智也

[昼食休憩 11:30～13:00]

C 施工図・施工管理

司会: 稗圃成人(鹿島建設) 13:00～13:45

C-1 施工図の実態に関する研究
- 施工図の作成者と役割に着目して -

篠原廉(芝浦工業大学)・蟹澤宏剛・権藤智之・松倉裕貴

C-2 鉄筋工事における ICT の活用に関する考察2

田中大士(芝浦工業大学)・志手一哉・曾根巨充

C-3 建築工事における管理業務の可視化と工数の実態に関する研究

齋藤寛彰(戸田建設)・樋口正一郎

[休憩:10分]

D 工事計画・生産性

司会:稗圃成人(鹿島建設) 13:55~14:55

- D-1 プレカットを用いた木造軸組住宅(四号建築物)に関する研究
-仕様規定から見た四号建築物の実態-

中野晃吉(芝浦工業大学)・鈴木康右・村上淳史・蟹澤宏剛

- D-2 免震レトロフィットにおける仮受工法の工程歩掛に関する研究

伊原大貴(立命館大学)・持田泰秀

- D-3 工業化構法住宅の生産性向上に関する研究(その3)

鉄骨系プレハブ住宅を対象とした工数調査に基づく定量的分析

平田悠真(芝浦工業大学)・蟹澤宏剛・佐々木麻衣

- D-4 建築作業における運搬手順特性の分析

枠組足場施工実験における1人作業と組作業の運搬手順の比較

石岡宏晃(清水建設)

[休憩:15分]

【 特別講演 】

司会:浦江真人(東洋大学) 15:10~17:00

「建築産業の将来を知る・将来を支える」

特別講演1 「建設投資の中長期予測~2030年度までの見通し~」

徳永政道(一般財団法人 建設経済研究所 研究理事)

特別講演2 「建設キャリアアップシステム~建設業と技能者を支える新しいシステム~」

蟹澤宏剛(芝浦工業大学 工学部 建築工学科 教授)

質疑/討論

■ 第2日目 7月27日(金)

講演時間(発表12分、質疑3分)

E コスト管理・改修

司会:戸倉健太郎(三井住友建設) 9:05~10:20

- E-1 マンションにおける設備改修工事費の傾向と長期修繕計画との関連性に関する考察

橋本真一(建設物価調査会総合研究所)・山本高史

- E-2 分譲マンションの大規模改修工事における予備費のコスト管理

秋山哲一(東洋大学)・宇治康直・山口幸平

- E-3 建築修繕履歴から考える建物の経常修繕に関する研究

入澤良(前橋工科大学)・堤洋樹

- E-4 超高層分譲マンションにおける排水管改修工事の設計・施工プロセス

宇治康直(東洋大学)・秋山哲一・山口幸平

- E-5 バンコクにおける分譲集合住宅管理の現状と課題

-管理方式に着目して-

津幡慶太郎(首都大学東京)・権藤智之・山本紗耶香・KanyapaAramraks

[休憩:10分]

F 維持管理・用途変更

司会:戸倉健太郎(三井住友建設) 10:30~11:30

- F-1 地域評価から見た空き家発生要因の分析

山越郁也(前橋工科大学)・堤洋樹・讚岐亮

- F-2 公共施設整備における住民参加の手法に関する研究

-ワークショップと施設情報収集ツールの有用性の検討-

水谷俊貴(前橋工科大学)・堤洋樹・讚岐亮

- F-3 複合公共施設の運営手法について

-学校施設複合化の実態-

藪下玲央(早稲田大学)・平井健嗣・李祥準・小松幸夫

- F-4 東京都区部における建物利用の変化に関する研究

-建物利用の変遷の定量的調査-

黒澤綱亮(早稲田大学)・小松幸夫・板谷敏正・石原健司

[昼食休憩 11:30~13:00]

G 組織・雇用

司会:多葉井 宏(竹中工務店) 13:00~14:15

- G-1 日本における高層ビル施工の変遷に関する研究
ー揚重・運搬・情報に着目した生産性向上の取り組みー
黒坂雅人(首都大学東京)・三浦玲児・松本有未子・権藤智之
- G-2 北海道における小規模住宅生産者の組織化に関する研究
三友かんな(首都大学東京)・権藤智之
- G-3 中小規模の建設業者の地域における競争優位性の実証的検証
ー北海道開発局の入札結果情報の分析ー
森本恵美(徳島大学)・荒井弘毅
- G-4 建設業における外国人技能実習生の活用と労働安全衛生上の課題
高木元也(労働安全衛生総合研究所)・庄司卓郎・呂健
・惠羅さとみ・安井翔一・蟹澤宏剛
- G-5 日本建設業における労働力需給調整の実態解明に関する研究
小松智之(芝浦工業大学)・蟹澤宏剛・田澤周平

[休憩:10分]

H 教育・技能

司会:多葉井 宏(竹中工務店) 14:25~15:25

- H-1 地方自治体が主催する建築系学生を対象とした実施コンペにみる建築設計教育のありかた
辻井麻衣子(摂南大学)
- H-2 画像マーカー型 AR 方式による教材開発事例とその発展について
西澤秀喜(職業能力開発総合大学校)・蟹澤宏剛・吉田競人・船木裕之
- H-3 ミャンマー連邦共和国日本水準の建設技能訓練者育成プログラムに関する研究
ー鉄筋・型枠および左官・レンガの各技能教育訓練ー
三原齊(ものづくり大学)・深井和宏・吉田倬郎・浦江真人
- H-4 技能五輪国際大会(WSC)建築大工職競技課題と職種定義に関する研究
深井和宏(ものづくり大学)・森脇康太・三原齊

[休憩:10分]

I 発注・BIM

司会:森岡 徹(大林組) 15:35~16:50

- I-1 建築プロジェクトにおける発注者の意思決定に関する研究
ー近年のホテルプロジェクトにおけるメンバー間の情報伝達の仕組みについてー
田村篤(京都大学)・金多隆
- I-2 多様化する発注契約方式の実態に関する研究 その2
ー日英米の比較を通してー
伊井夏穂(芝浦工業大学)・志手一哉
- I-3 英国の BIM に関連する社会システムに関する研究
三上智大(芝浦工業大学)・田澤周平・安藤正雄・平野吉信
・蟹澤宏剛・岩松準・小笠原正豊・志手一哉
- I-4 建築情報構法としての BIM
ー建築情報を構造化するプロセスへの言及ー
森下有(東京大学)・野城智也
- I-5 ベトナムにおける BIM の普及動向に関する考察
志手一哉(芝浦工業大学)・井上淳・安井翔一・蟹澤宏剛

【 閉会挨拶 】 安藤正雄 (千葉大学名誉教授) 16:50-17:05

※ 本プログラムは変更になる場合があります。
最新のプログラムを本会ホームページでご確認下さい。
<http://www.aij.or.jp/index/?se=eventlist&ac=listdisp>

【発表者の方へ】

既にご案内のように、2012年度よりコンピュータウイルス感染予防のため、発表用パソコンは各発表者の方にご用意いただく方式となっておりますので、ご用意の方よろしくお願いいたします。